



講演資料
取組3

資材コスト減&労働力減 は有機農業だから成立する。

アグリーンハート代表取締役 佐藤拓郎



佐藤拓郎：農音楽家 Takuron



- ・ シンガーソングライター
- ・ 黒石市観光大使
- ・ 青森県学校教育サポーター
- ・ 元TVリポーター
- ・ (一財)双仁会厚生看護専門学校 非常勤講師
- ◆ くろいし有機農業推進協議会 会長
- ◆ 黒石市総合計画審議会 委員
- ◆ あおもりICT利活用推進プラン検討懇話委員
- ◆ 日本一健康な土づくり推進プラン検討委員
- ◆ 青森県農福連携推進委員
- ◆ 青森県総合計画審議会 産業・雇用部会委員
- ◆ 農林水産省 農林水産技術会議評価専門委員
- ◆ 農林水産省 米の将来価格実務者勉強会委員
- ◆ 株式会社 アグリーンハート 代表取締役
- ◆ 株式会社 ビオ・フローズン 代表取締役
- ◆ 一般社団法人 日本販売農業共同団体連合会 理事



青森県黒石市

株式会社アグリーンハート



GLOBAL G.A.P.
GGN: 4059883236101



◆ 経営面積 73.8 ha

- **有機面積 52.5 ha** (米13.8 ha、大豆38.7 ha、アスパラ10a)
- 減農薬栽培 21.3 ha (米)

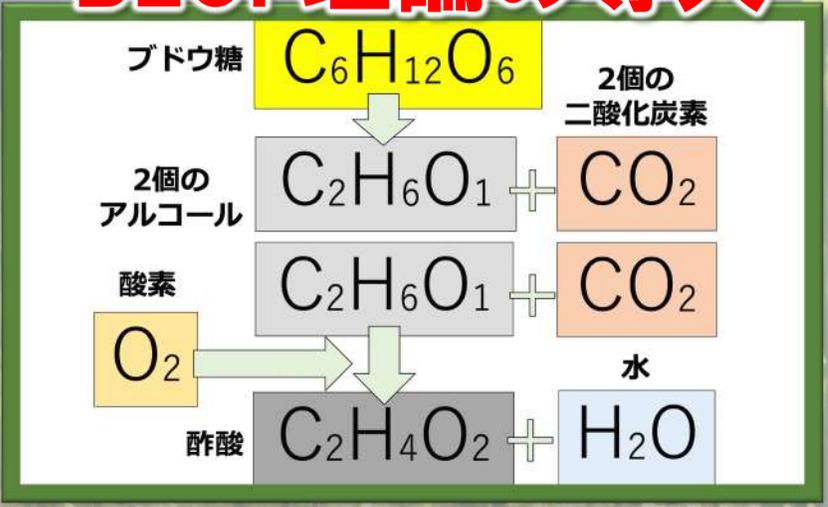
笑顔農業
感謝農業




有機農業×休耕地再生×障がい者雇用



BLOF理論の導入

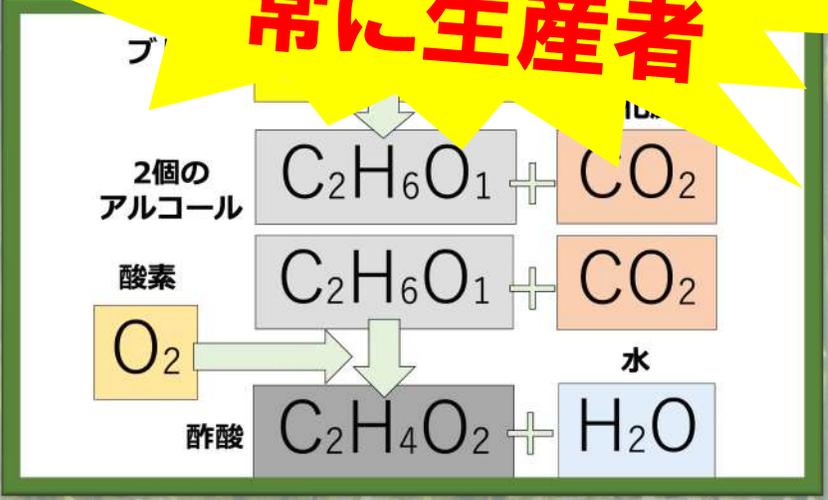





有機農業×休耕地再生×障がい者雇用



リスクは常に生産者



GLOBAL G.A.P.
GGN: 4059883236101



ノウフク



日本基金

有機農業×休耕地再生×障がい者雇用×CSA



学校給食へ提供



未来の人財

Community Supported Agriculture

消費者が農家を買い支え、
農家は消費者を作り支える




選手村へ
有機米
を提供

有機農業×休耕地再生×障がい者雇用×CSA



学校給食へ提供



未来の人財

Community Supported Agriculture

消費者が農家を買い支え、
農家は消費者を作り支える

企業

福利厚生を
活用した連携



選手村へ
有機米
を提供

自然栽培(無肥料・無堆肥)から始まった有機農業だが

自然栽培で植物は育つのか? = Yes

規模拡大できる技術なのか? = ?

➡ アグリーンハートが目指す未来から逆算した結果、BLOF理論を導入し、大規模経営が可能な有機農業の確立を目指すことに。



稼げる地域内循環型有機農業の確立を目指して



資材コスト減&労働力減

は有機農業だから成立する。

- ・ 菌や生物を活用したほぼ無除草有機水稻
- ・ 4cm浅耕で微生物バイオマス農法
- ・ 地域内未利用資源の活用で低コスト
- ・ 大豆との輪作で抑草&減肥





菌と水中生物を活用したほぼ無除草有機水田¹⁰



水中を動き回る
ホウネンエビ
カブトエビ
ミジンコ類

兵庫県丹波市



4 cm浅耕で微生物バイオマス農法



宮城登米市：千葉さん



4 cm浅耕で微生物バイオマス農法





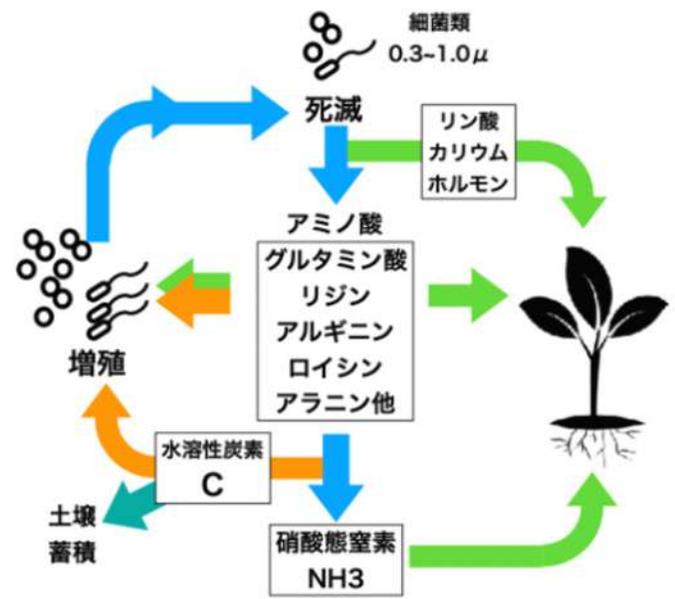
10aあたり

投入窒素 **2 kg**

(基肥 1.4kg / 追肥0.6kg)

収量 **600kg**

浅耕により分解範囲の限定 →
微生物バイオマスによる地力窒素の出現



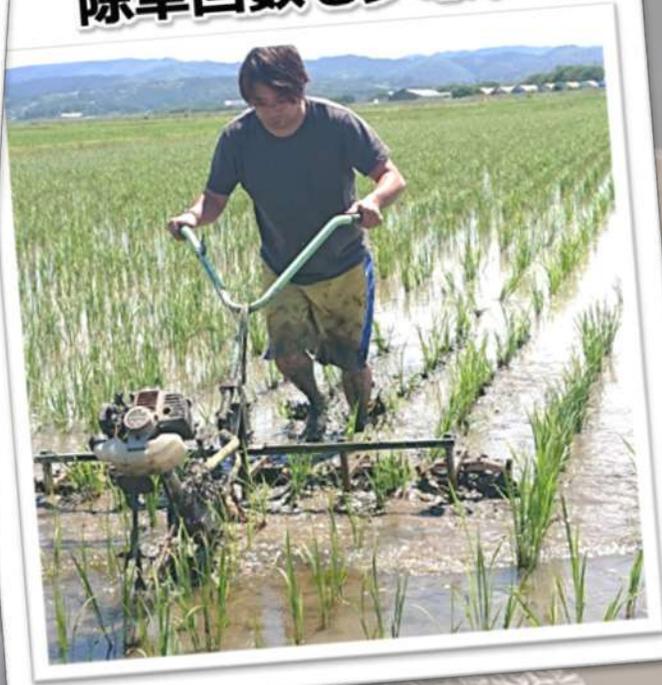
追肥の液肥 (流し込み)



還元層の形成



茎数が少ないが粒数が多い。浅いので作業が楽。
除草回数も少ない。



地域内未利用資源の活用でコスト減

有機農業25%実現の鍵



- ・ホタテ養殖残渣
- ・鶏糞、牛糞、豚糞
- ・粃殻
- ・りんご絞りカス
- ・食品残渣
- ・汚泥
- ・落ち葉 など



ホタテ養殖残渣堆肥
pH=8.1~8.5
(100坪に4t。
表面5~8cmが堆肥)

しかし…土のpHが4.5!

BLOF理論の
「溶かして
吸わせる技術」

残渣がすぐに分解。
通路が堆肥場。





大豆との輪作で減肥 (有機転換の鍵)



晩播狭畦密植栽培

7月28日播種 → 11月26日刈取前





↓草が生えてこない



晩播狭畦密植栽培とは？

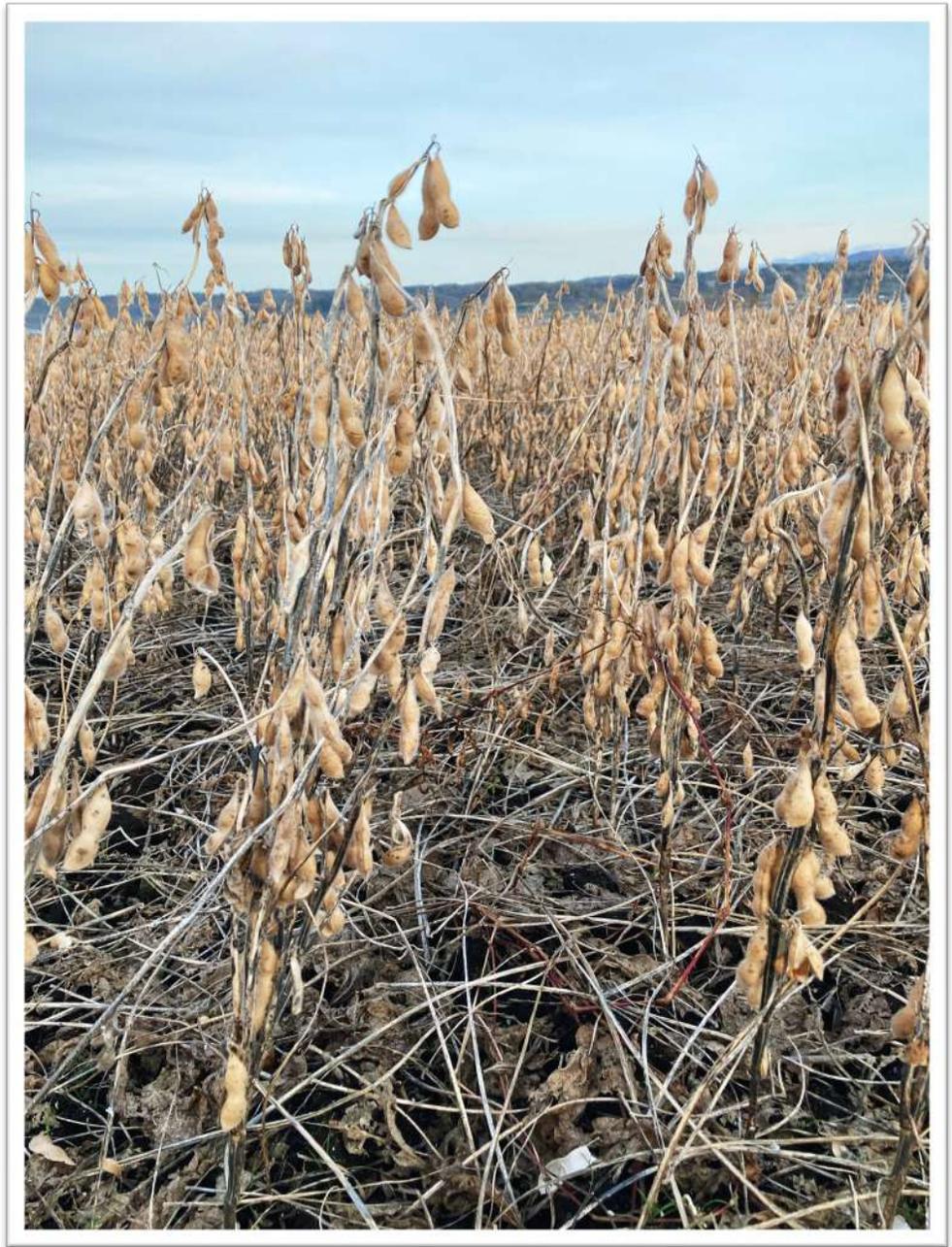
遅く播種することで『大豆は成長し易いが草は成長し難い』という状態をつくる。さらに密植で播種することで、大豆の成長=葉の展開による地面への遮光効果で、無除草栽培が容易になる。また播種量が多い為、収量は高い。

播種したらあとは収穫まで何もしない。



7月19日播種圃場 : 8月2日の状態







大豆との輪作で減肥 (有機転換の鍵)

- 大豆は根粒菌で窒素固定
- 2年大豆のあとは無肥料で1年水稻
- 好気2年、嫌気1年で抑草
- “有機転換期間中”を大豆で乗り切る
- NON-GMの影響で高値
- 労働力が水稻の3分の1



大豆2年作付後の無肥料水稻

～紙マルチ式田植え機による無除草水稻～





大豆2年作付後の無肥料水稻 ～紙マルチ式田植え機による無除草水稻～

田植え：6月15～24日





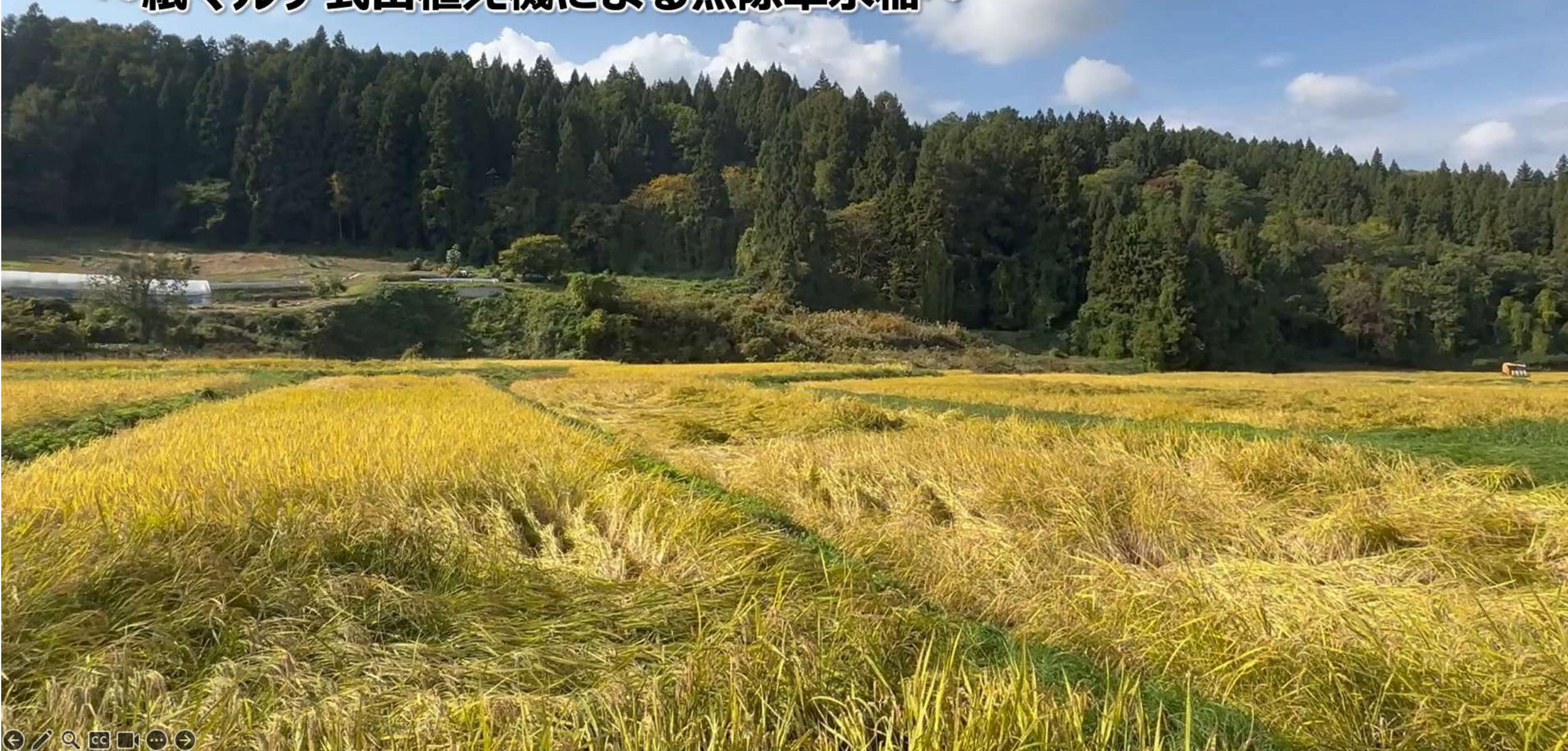
大豆2年作付後の無肥料水稻 ～紙マルチ式田植え機による無除草水稻～

9月1日の状況





大豆2年作付後の無肥料水稲 ～紙マルチ式田植え機による無除草水稲～



これからの地域農業 ～2軸の考え方～

規模と役割で2極化する

5年間のTV取材で出会った160件以上の農家と向き合って感じたこと。農業には2種類あるということ。

農家による農業

実業家による農業

農家による農業

- # 家族経営
- # 農業の中に目的がある
- # 土づくり
- # 無償残業

実業家による農業

- # 法人経営
- # 目的の為に農業がある
- # 土をつくる為の人づくり
- # サラリーマン農業



有機農業は？

農家による農業

- 小規模な“持続可能”
- 自給自足（地産全消）
- “生き方”としての
「有機農業」
- 地域課題解決の為の農業

実業家による農業

- 大規模な“持続可能”
- 経済波及（地産発信）
- 雇用を守る為の
「有機農業」
- 地域課題解決の為の農業

農水/行政

農家による農業

経営力 = 持続性

- ・生産力の継承

実業家による農業

経営力 = 持続性

- ・事業の創出
- ・雇用
- ・人材育成

JA

それぞれにどう関わって
経営力を強化し地域の価値を創るか

地域を支える スペシャリスト集団になる！

ご清聴ありがとうございました。

